

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	地域特性を考慮した海岸保全施設の老朽化対策手法等検討調査業務
業 務 概 要	前年度調査によって抽出された課題を踏まえ、気象・海象を考慮した海岸保全施設の老朽化対策及び、観光・文化等の社会ニーズを考慮した海岸保全施設の整備手法の検討を行う。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 沖縄総合事務局 開発建設部長 中島 靖 沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号
契約年月日	令和2年7月16日
契約業者名	一般社団法人 日本マリーナ・ビーチ協会
契約業者の住所	東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル2階
契 約 金 額	11,110,000円（税込み）
予 定 価 格	11,202,028円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙「随意契約理由書」のとおり。
業 務 場 所	沖縄総合事務局 開発建設部 港湾計画課
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間（自）	令和2年7月17日
履行期間（至）	令和3年2月26日
備 考	

随 意 契 約 理 由 書

1. 業 務 名 地域特性を考慮した海岸保全施設の老朽化対策手法等検討調査業務
2. 履 行 場 所 沖縄総合事務局 開発建設部 港湾計画課
3. 契約の相手方 名 称 一般社団法人 日本マリーナ・ビーチ協会
住 所 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル
電 話 03-3222-3734
4. 随意契約適用法令 会計法第29条の3第4項及び予算令第102条の4第3号
5. 当該業務の目的・内容及び随意契約の理由

(1) 目的・内容

沖縄の海岸保全施設は、台風の常襲地域にあり、高波浪や高い気温の影響を受け、老朽化の進行が速く、整備後50年以上経過した海岸保全施設の割合が全国と比較して小さいにも関わらず、事後保全を要する海岸保全施設の割合は全国よりも大きい。このため、地域の気象・海象条件を考慮した老朽化対策の実施が喫緊の課題である。

また、沖縄の海岸保全施設は、伝統的な催事の場合でもあり、海水浴やマリンレジャーを目的とする県内外の観光客の利用も盛んで、観光資源としても重要な役割を持っている。

令和2年度調査は、前年度調査によって抽出された課題を踏まえ、気象・海象を考慮した海岸保全施設の老朽化対策及び、観光・文化等の社会ニーズを考慮した海岸保全施設の整備手法の検討を行う。

(2) 理 由

本業務は、台風の常襲地域にある沖縄の海岸保全施設について老朽化状況を把握するとともに、周辺環境やその他の構造物との関係及び地域住民・観光利用状況等を調査するものである。

業務遂行においては、海岸保全施設について地域特性を考慮した効果的な老朽化対策及び整備手法を検討するため、海岸保全施設の計画や整備、維持管理について専門的な知識と高度な技術力が要求されるため、入札参加者の資格・実績・技術的提案（特定テーマ）等によって、当業務成果の品質向上が図れる「プロポーザル方式（総合評価型）」による選定を行った。

契約の相手方は、技術提案書において総合的に最も優れた者であることから、上記業者と契約を締結するものである。